

演題
・
講師

よくある脳神経内科の病気

<第1部> 「てんかんの診療」

脳神経内科 准教授 加藤 陽久 医師

<第2部> 「片頭痛の診断と最近の治療」

脳神経内科 主任教授 赫 寛雄 医師

オンライン
開催

<第1部> 「てんかんの診療」

てんかんは、てんかん発作を引き起こす持続的な原因が脳にある、慢性の脳の病気です。てんかんにはさまざまな発作型がありますが、見た目には分かりづらいものもあります。「ぼーっとする」、「一点を見つめる」といった症状に加え、「口をもぐもぐさせる」、「衣服や周りのものを触る」といった症状が、てんかんであることもあります。本講演では、てんかんの症状を中心に触れていきます。



<第2部> 「片頭痛の診断と最近の治療」

片頭痛は有病率の高い疾患です。頭痛は中等度以上の強さで、悪心や光・音過敏を伴い、体動によって増悪するのが特徴です。閃輝暗点と呼ばれる前兆を伴う場合もあります。

片頭痛は、患者さんの社会生活や日常生活に大きな支障をもたらす、重大な疾患です。片頭痛の治療では、頭痛時の急性期治療だけでなく、**予防療法も重要**です。本講演では、片頭痛の特徴と最近の治療を中心に解説を行います。



You Tubeにて動画公開中！

こちらの二次元コードから講演動画をご覧いただけます。
(病院ホームページが開きます)

